



独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 技術本部
ソフトウェア高信頼化センター
(SEC) 編集・発行

ISBN: 978-4905318361
A4 変形判・180 頁
定価 1,852 円 (税抜)
2015 年 11 月 18 日刊

組込みソフトウェア開発データ白書 2015

～定量データ活用で見て来た組込みソフトウェア開発の一面を初公開～

組込みソフトウェア開発においても、品質に対する説明責任やコスト競争力強化のために、定量データを活用したプロジェクトマネジメントや組織改善を推進する企業が年々増加しています。

IPA/SEC は、定量データ活用を組込みソフトウェア業界に広く推進させることを目的に、公的機関としての中立的立場を活かし、組込み分野に特化したプロジェクトデータを収集し、分析を実施しました。

「組込みソフトウェア開発データ白書 2015」は、2013 年 4 月～2015 年 3 月までの 2 年間に、組込み分野におけるソフトウェア開発企業 10 社から提供を受けた総計 174 件のプロジェクトデータを分析したものです。

本書では、収集データのプロファイルと、組込みソフトウェア開発プロジェクトの規模・工数・工期の関係や、生産性・信頼性などの分析結果を掲載しています。



独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 技術本部
ソフトウェア高信頼化センター
(SEC) 編集・発行

ISBN: 978-4905318378
A5 判・86 頁
定価 463 円 (税抜)
2015 年 11 月 18 日刊

組込みソフトウェア向けプロジェクトマネジメントガイド [定量データ活用編]

～定量データ活用による組織の開発・管理力向上～

「定量データ活用は手間とコストがかかるだけでメリットが無い」という先入観を持たれている組込みソフトウェア開発企業の経営者層に向けて、経営者の視点で定量データ活用による利点を訴え、定量データ管理の導入を支援する啓発書です。

コストをかけなくても定量データ収集の仕組みが構築できることや、定量データを活用した具体的なプロジェクトマネジメントの例

や指標を活用した組織の改善方法なども紹介しています。「組込みソフトウェア開発データ白書 2015」と合わせてご利用ください。

つながる世界のソフトウェア品質ガイド

～あたらしい価値提供のための品質モデル活用のすすめ～



独立行政法人情報処理推進
機構 (IPA) 技術本部
ソフトウェア高信頼化センター
(SEC) 編集・発行

A5判・216頁
定価 926円 (税抜)
2015年5月29日刊

IT やそれを活用したビジネスの領域は、様々な製品やサービスが複雑に連携しながら「つながる」システムを構成し、全体として利用者に新たな価値を提供する世界に確実にシフトしています。このような価値を利用者に届けるために、また利用者に対する品質に関する説明責任を果たすために、事業者にはこれまで以上に品質に対する広範囲な理解と包括的な取り組みが求められます。

本ガイドブックは、このような背景のもとで、製品・サービスを提供する事業者が、広い視点で

品質要求を洗い出し、確実に設計・実装し、かつ定量的に評価するための指針を規定した国際規格「SQuaRE」^{※1}について、上記の背景とそこで必要となる品質の考え方、及び SQuaRE の活用に関する基本的な知識を分かりやすく取りまとめたものです。現場の技術者やリーダーだけでなく、会社経営者の方々にもご活用いただけます。

※1 SQuaRE : Systems and software Quality Requirements and Evaluation ; システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価に関する国際規格 ISO/IEC 25000 シリーズ、国内規格 JIS X 25000 シリーズの総称。スクウェアと読む。

つながる世界のセーフティ&セキュリティ設計入門

～IoT時代のシステム開発『見える化』～



独立行政法人情報処理推進
機構 (IPA) 技術本部
ソフトウェア高信頼化センター
(SEC) 編集・発行

ISBN: 978-4905318354
A5判・90頁
定価 556円 (税抜)
2015年10月7日刊

スマートフォンで家電を制御するサービスや、クラウドを利用して健康器具のデータを管理するヘルスケアサービスなど、異なる分野の製品やサービスを組み合わせた新たなサービスが始まっており、今後は、更に様々な製品などがつながるサービスが出現すると見込まれています。このような「つながる世界」においては個々の製品の問題がシステム全体の問題となります。とくに、安全性(セーフティ)やセキュリティの問題が懸念されます。本書では、組込み系

のソフトウェア技術者や製品開発責任者(経営層)を対象に、セーフティ設計(設計の段階で安全を作りこむこと)・セキュリティ設計(設計の段階で脆弱性の低減や脅威への対策を考慮に入れること)とその設計品質の見える化(エビデンスに基づき、第三者でも容易に理解できる表記で論理的に説明すること)の導入を促すことを目的に、設計の重要性やリスク分析手法、設計手法、見える化手法、経営層の関与のあり方などを解説しています。

上記書籍は、IPA 直販でご購入いただけます。詳細は Web サイトにてご確認ください。SEC BOOKS : <http://www.ipa.go.jp/sec/publish/index.html>
※一部の書籍は amazon でもご購入いただけます。また、お近くの書店でお取り寄せが可能な場合があります。詳しくは各書店にお問い合わせください。